

(様式第1号)

令和元年9月25日

認定介護福祉士認証・認定機構
理事長 様

領域名： 認定介護福祉士養成研修導入

科目名： 認定介護福祉士概論

単位数： 1単位

認証申請する研修の名称： 神奈川県介護福祉士会 令和2年度認定介護福祉士養成研修

団体名： 公益社団法人神奈川県介護福祉士会

団体事務所の所在地： 〒231-0002

神奈川県横浜市中区海岸通4丁目23番地 マリンビル305号室

電話： 045-319-6687

FAX： 045-222-6676

E-mail： info@kanagawa-accw.org

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者： 会長 コッシュエイシイ美千代 ㊞

申請責任者： 梅田 滋

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	令和元年9月25日
申請団体名	公益社団法人神奈川県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 コッシュイシイ美千代
申請責任者職名	組織運営事業部
申請責任者氏名	梅田 滋
団体住所	〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通4丁目23番地 マリンビル305号室
同 Tel・Fax	Tel : (045)-(319)-(6687)
メールアドレス	Fax : (045)-(222)-(6676)
	E-mail info@kanagawa-accw.org
申請対象の領域	領域名 : 認定介護福祉士養成研修導入
科目名 (単位数)	科目名 : 認定介護福祉士概論 (1単位)
申請する研修名	神奈川県介護福祉士会 令和2年度認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	認定介護福祉士養成研修導入	
科目名	認定介護福祉士概論	
(1) 提供する研修について		
研修名	神奈川県介護福祉士会 令和2年度認定介護福祉士養成研修	
研修目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研修全体の導入として、認定介護福祉士に求められる役割、本研修で獲得すべき知識、実践力と、本研修全体の組み立てについて理解する。 ・介護現場の様々な問題がなぜ起きるのかについて、介護観・支援目標の共有化など、チーム運営の視点で把握するとともに、自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を理解する。 ・自ら考える力・自ら学ぶ力の重要性を改めて確認する。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認定介護福祉士養成研修の体系を理解し、学習計画を立てる。 ・認定介護福祉士に求められる役割と実践力、尊厳、コミュニケーション能力、態度、価値観について説明できる。 ・介護現場でおきる問題についてチーム運営やチームアプローチの視点で分析でき、専門的知識の共有、コンフリクト、調整能力を理解し説明できる。 ・自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を説明できる。 ・自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているかを自覚する。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認定介護福祉士の社会的使命と介護の専門性、尊厳、自立支援、コミュニケーション能力、態度、価値観 2. 介護現場における様々な問題とその要因 3. チーム運営と職種間連携、求められるリーダーシップ、チームアプローチ、専門的知識の共有、コンフリクト、調整能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定介護福祉士とは何か ・介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割の変化 ・認定介護福祉士に求められる役割と実践力、尊厳、自立支援、チームアプローチ、コミュニケーション能力、態度、価値観 ・介護現場における様々な問題とその要因 ・チーム運営と職種間連携、チーム運営と求められるリーダーシップ、チームアプローチ、専門的知識の共有、コンフリクト、調整能力 ※上記を講義・演習・課題学習で実施する。課題学習については、テキストより課題を出し、レポートを提出し、内容を評価する(100点満点中60点以上を合格とし、それ以下はレポートの再提出を求め採点する)。
研修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 通学課程（集合研修） <input type="checkbox"/> 通信課程（通信研修）	
研修時間	15時間（集合研修時間8時間、課題学習時間7時間）	
修了要件	<p>原則として全過程の出席を要する。遅刻/早退について30分以上は認めない。ただしやむを得ない事情による合計30分以内の遅刻/早退がある場合には、レポートの提出により評価する。代替レポートについては、到達目標を確認できる内容で出題する。800字程度。100点満点中60点以上であること。</p> <p>また以下の条件を満たすことを、修了の要件とする。</p> <p>筆記試験：50問:90分、100点満点中60点以上であること。</p> <p>課題学習レポート：各800字程度。すべてのレポートが100点満点中60点以上であること。</p> <p>不合格の場合は、再度レポートの提出により評価する。レポートは到達目標を確認できる内容で出題する。800字程度。100点満点中60点以上により、修了とする。</p>	

講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者 ・修士課程を修了している者が望ましい 以上の講師要件に基づき、講師を選定する。
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	介護福祉士資格取得後5年以上勤務した経験を有し、ファーストステップ研修修了、または現任研修100時間以上の受講歴（但しレポート課題有）がある者
修了評価（習得度、研修成果）	<p>評価基準：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定介護福祉士養成研修の体系を理解していること。 ・認定介護福祉士に求められる役割と実践力について説明できること。 ・介護現場でおきる問題について、チーム運営の視点で分析できること。 ・自立を支援するために根拠に基づいた介護を実践することの必要性を説明できること。 ・自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているかを自覚できていること。 <p>以上の評価基準に基づき、筆記試験、レポート提出等で習得度及び研修成果を評価する。</p> <p>筆記試験：50問：90分、100点満点中60点以上であること。</p> <p>課題学習レポート：各800字程度。すべてのレポートが100点満点中60点以上であること。</p> <p>評価基準に到達していない場合には、再評価により修了とするか、不合格（再履修）とする。</p>
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	30名（講師1名）
開催場所（都道府県）	神奈川県在宅医療トレーニングセンター（神奈川県横浜市）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 令和2年8月中旬
	②
	③
開催場所 (会場)	① 神奈川県在宅医療トレーニングセンター
	②
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	太田 貞司 氏
	京都女子大学 教授 ※略歴は別紙を参照
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	組織運営事業部 (5名)
研修の企画運営に関する諸 規程	認定介護福祉士養成研修実施要領
研修管理責任者職名	組織運営事業部
研修管理責任者氏名	梅田 滋
機構問合先部署	神奈川県介護福祉士会 事務局
機構問合先担当者氏名	廣田都美枝、中村多恵子
機構問合先電話番号/FAX	045-319-6687/045-222-6676
機構問合先 e-mail アドレス	info@kanagawa-accw.org
受講問合先部署	神奈川県介護福祉士会 事務局
受講問合先担当者氏名	廣田都美枝、中村多恵子
受講問合先電話番号/FAX	045-319-6687/045-222-6676
受講問合先 e-mail アドレス	info@kanagawa-accw.org
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	I 類
受講履歴の管理方法	科目に使用したテキスト、講義資料、筆記試験、課題提出レポート等の紙媒体、及び受講履歴等のデータすべてを、神奈川県介護福祉士会事務局にて管理する。 保存期間は10年以上とする。
受講履歴の証明	科目毎に修了証を発行
管理責任者氏名	会長 コッシュイシイ美千代
管理担当者氏名	組織運営事業部 梅田 滋

(別添資料)

集合研修における具体的なコマシラバス

申請対象の領域 認定介護福祉士養成研修導入

科目名 認定介護福祉士概論

集合研修の総時間数 15時間 (集合研修時間8時間、課題学習時間7時間)

1日(15時間)集合研修時間8時間、課題学習時間7時間

※集合研修終了後、ひきつづき科目修了の筆記試験(50問)を実施する。時間：1時間30分

時間	テーマ	展開内容(講義ポイントや演習の展開内容)	留意事項等	担当講師 (補助講師)
<1時間> 集合研修時間：1時間	1. 認定介護福祉士とは何か	○認定介護福祉士制度の目的と概要 ○研修全体のカリキュラム、機構について ・研修全体のオリエンテーションを兼ねる ・概論として、他科目との関連性について理解する	テキスト「認定介護福祉士概論」 「提言書」	太田貞司氏 京都女子大学教授
<2時間> 集合研修時間：1時間 課題学習時間：1時間	2. 介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割の変化	○地域包括ケアシステムと医療・介護連携等 ○介護の専門性、介護福祉士資格制度 ・我が国の介護職集団と介護職チームの形成過程を理解する ・「日常生活を営むことへの支援」の際、介護職が担う職能集団としての役割と機能、支援の意味について考える ・介護福祉士資格制度、認定介護福祉士創設の経緯について、関係する制度や検討会報告書等を用い	テキスト「認定介護福祉士概論」 テキストをもとに課題学習(レポート)の対象とする レポートのテーマ： 介護をめぐる社会的動向と介護福祉士の役割の変	太田貞司氏 京都女子大学教授

		て学ぶ	化の理解を確認できる内容とする	
<p>< 2時間 ></p> <p>集合研修時間：1時間 課題学習時間：1時間</p>	<p>3. 認定介護福祉士に求められる役割と実践力、尊厳、自立支援、チームアプローチ、コミュニケーション能力、態度、価値観</p>	<p>○地域包括ケアシステムにおける認定介護福祉士が担うべき役割を学び、その役割に必要な実践力を学ぶ</p> <p>○尊厳を支えるケア、自立支援の視点に基づく介護、根拠ある生活支援、チームアプローチ、チーム運営・マネジメント、職種間連携、地域連携、等</p> <p>・4の「介護現場における様々な問題とその要因」との関係にも留意しながら学ぶ</p>	<p>テキスト「認定介護福祉士概論」</p> <p>テキストをもとに課題学習（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 認定介護福祉士に求められる役割と実践力、尊厳、構造、自立支援、チームアプローチ、コミュニケーション能力、態度、価値観の理解を確認できる内容とする</p>	<p>太田貞司氏 京都女子大学 教授</p>
<p>< 2時間 ></p> <p>集合研修時間：2時間</p>	<p>4. 介護現場における様々な問題とその要因</p>	<p>○職種間または組織間に起こりやすい問題、利用者への関わり方や介護観の相違により起きる問題</p> <p>○テキスト掲載の事例や受講者に実践現場で起こる課題を提出してもらい、それらをもとにチーム運営に係る課題と要因を抽出させ、チームの運営に何が必要なのかを考えさせる（演習）</p>	<p>テキスト「認定介護福祉士概論」</p>	<p>太田貞司氏 京都女子大学 教授</p>

<p>< 7 時間 ></p> <p>集合研修時間：2 時間</p> <p>課題学習時間：5 時間</p>	<p>5. チーム運営と職種間連携、チームアプローチ、専門的知識の共有、コンフリクト、他職種との共有、調整能力</p>	<p>○チームケア・チームアプローチとは何か、チームを構成する各職種の役割・機能の理解、チームにおける介護観・援助目標の共有化、チーム内・職種間の調整、コンフリクトマネジメント、チームメンバーとのコミュニケーション等</p> <p>○ケーススタディとして、他職種との有機的な連携方法、同一組織内における価値観の相違、チームメンバーとのコミュニケーション、地域生活の支援と地域連携のうち、1 例を学ぶ（演習）</p>	<p>テキスト「認定介護福祉士概論」</p> <p>課題学習<事前課題>（レポート）の対象とする</p> <p>レポートのテーマ： 自職場における介護職チームが抱える課題についてまとめ、事前提出する</p>	<p>太田貞司氏 京都女子大学 教授</p>
<p>< 1 時間 ></p> <p>集合研修時間：1 時間</p>	<p>6. チーム運営と求められるリーダーシップ</p>	<p>○リーダーシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中堅職員やユニットリーダー等に求められるリーダーシップと認定介護福祉士に求められるリーダーシップの違いについて学ぶ ・自分自身の価値観が自らのリーダーシップにどのように影響しているかを自覚する 	<p>テキスト「認定介護福祉士概論」</p>	<p>太田貞司氏 京都女子大学 教授</p>